

J.O.S.G.

日本一般臨床医矯正研究会

2023年 第42回 総会

メインテーマ：予防矯正（その1）

2023年5月14日（日）

- ※ **建築会館**（東京・田町）
- ※ 午前**10時**より（9時30分 受付開始）午後5時閉会
- ※ 当日会費：正会員 15,000円：特別会員・終身会員 10,000円：非会員 20,000円
準会員・臨床研修医 5,000円（事前登録についてはパンフレットをご覧ください）

[**建築会館**（東京・港区）]

〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20 Tel.03-3769-2977(当日ホール直通)

- * JR山手線・京浜東北線 **田町駅**（徒歩3分）
- * 都営地下鉄浅草線・三田線 **三田駅**（徒歩3分）
- * **駐車場はございません**



* 宿泊される方は、各自でお早めにご予約下さい。

※ 出欠のご連絡は、昼食の用意などの人数確認の為 **4月28日(金)まで** お願いいたします。

2023年の開催予定： 例会 11月12日（日）建築会館

開催日：2023年5月14日（日）

司会：太田 敏 先生

開会挨拶：勝 沼 稔 会長

9：30 受付開始

10：00 教育講演

「生まれた子が将来生きていくためにオシャブリがいかに必要なのか細かく解説する」
—50年前より現在へと口腔関連も含めて大変なことになってきている—

当会顧問

各務 肇 先生

12：00 昼食

第42回総会

議長選任

2022年事業報告と2022年決算採決

2023年事業計画と2023年予算採決

13：30 特別講演 I

座長：川本 達雄 顧問

「咬合誘導と筋機能訓練で創る快適咬合」

青葉こどもと親の歯科医院 院長（仙台市）

青葉 達夫 先生

15：15 コーヒーブレイク

15：30 特別講演 II

座長：山口 秀晴 顧問

「私の機能的矯正治療の考え方」

M.I.H.O.矯正歯科クリニック 院長（甲府市）

今村 美穂 先生

16：30 シンポジウム

座長：山口 秀晴 顧問

青葉 達夫 先生・今村 美穂 先生・各務 肇 先生

17：00 閉会挨拶：染谷 博宣 副会長

教育講演について：各務 肇 先生の追加抄録

50年前からどんどん悪化してきている。このままだと日本が潰れる。

今回の講演では、先日の41周年の会場で皆様に配布した「オシャブリ」についての「やらなかったらこなる」のところを詳しく説明していきます。

先生方が、予防矯正や咬合誘導、矯正をやっていく上で、絶対見逃してはいけない、はじめに患者や親に指摘・説明を絶対にしておかなければならないことについて話します。

これまでの総会や例会ではこの話はしていないので、ぜひお耳を拝借です！

医科学や医歯薬などの研究が進み、病気を治そうとする治療に対する研究も進んできています。哺乳類の一つの動物である「人間」として生まれたからには、育たなければならないし、成長が止まって人間が完成した時には、ある程度正常でありたい。そしてそれが「健康」ということばで語られています。しかし、人間を一つの生きた「物体」として考えたとき、医学でも人間の本当の「正常」は解っていません。

人間に起こってしまった不快な症状や病気を治すための研究は多く、まだ解明が進んでいない「〇〇シンドローム(症候群)」と呼ばれるものや難病と称されるものは、どんどん増えています。しかし、生まれた時に、将来生きていくためにやらなければならないこと、「本能」として、自然界がやらせていることについての研究は多くありません。

人間は生まれてから「呼吸の方法」が変わり、「飲む」行為を始めますが、そこから将来の健康につながっていきます。つまり、正常な呼吸をして、正常な嚥下をする人間に育っていくためには「何をしようとしているのか、しているのか」を解ってなければなりません。

生まれた時から自然界が人間にやらせることは、まず「口に物を持っていく」ということです。赤ん坊は「何でも口にしたい」「シャブリたい」ので、動けない赤ん坊はすぐにシャブルれる自分の手や指を口に持っていこうとします。

では何故自然界は、生まれて間もない、まだ動けない子に「物をシャブラせよう、舐めさせようとする」のか？

それは、とにかく「口の中に唾液(よだれ)を出す」ことが目的だからです。物を見て、「舐めたい。口にしたい」と考えるだけで、その子の脳は唾液を出すようにします。唾液が出たら、それを飲まなければなりません。そこで自然と「飲む・飲む・飲む」の行為が行われるようになるのです。

自然界が本当にやらせたいのは、その「飲む」行為なのです。そのために「唾液が多い」のです。

なぜ自然界は「飲む」行為を生まれた時から大切にしているのか？それは舌筋(特に舌根部)をしっかり作っていききたいからです。「人間は舌筋によって生きている」といっても過言ではないからです。呼吸(酸素の取り込み)、嚥下(栄養の取り込み)、発音(音声による伝達)をするための筋肉を作って正常で健康といわれる人間に成人していくためです。

すなわち、人間は舌の筋肉を作るために、生まれた時から「指シャブリ」や「オシャブリ」をするのです。

なぜ日本ではそれをやめさせようとするのでしょうか？　ここまでは、これまでもお話してきました。

今回お話ししたいのは、口呼吸についてなどでなく、オシャブリをしないことで、歯列や咬合、歯自体にどのような悪いことが起こっているのか、舌の筋肉が弱いことで、自然界が今まで普通にやらせていた行為ができないで、どんなことが起こっているのか、まだ歯科界では気付いていない変化などについて指摘させていただき、解説したいと思います。



その指を取り上げないで！指より柔らかい「オシャブリ」をください！その行為をやめさせないでください！！

症例発表(模型展示・ポスター展示)のお願い

前略

学術大会(総会・例会)で展示する症例発表(模型展示・ポスター展示)を募集しております。

これまでの臨床での知見や症例、経験など、発表を希望される会員の先生は、下記の発表形式になっておりますので、ぜひご応募ください。

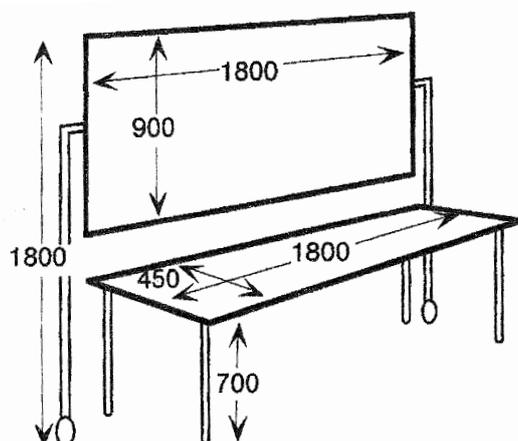
草々

記

発表形式予定

ポスター展示:ホワイトボード使用

模型展示:テーブル使用



(展示面)

ホワイトボード 1800×900

テーブル 1800×450

- ◆ 会員発表者には当会から感謝状を授与させていただきます
- ◆ 認定医申請・更新のためのポイントにもなります
 - ・ 症例展示 … 5ポイント(1症例につき)
 - ・ 会誌掲載 … 7ポイント
- ◆ 学術委員長 三村 まで発表の内容等をご連絡下さい
- ◆ 応募締切

総会(5/14 開催)・・・ 4月17日(月)

例会(11/12 開催)・・・ 9月15日(金)

JOSG 学術委員長

三村歯科医院 三村 善郎

京都府京都市伏見区淀新町20

TEL: 075-631-2267

FAX: 075-631-2299

Mail: mimura-y@mimura-dc.com